

資料 1

西東京市公民館運営審議会
令和2年度第3回定例会議

令和2年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 令和2年8月19日

NO	実施公民館	事業名	事業目的	期間・回数	学習内容	主な講師等
1	柳沢	ムービールーム柳沢	柳沢公民館の充実した視聴覚設備を生かして映画会を実施し、市民が身近な場所で良質な映像文化に触れる機会を継続的に提供する。また専門家による特別企画を開催し、映像文化について学ぶ。	10月14日から令和3年3月10日までの毎月第2水曜日（6回） 令和3年1月の土曜日（1回） 特別企画1回 全8回	・映画鑑賞 ・特別企画では講師の解説を通して映像表現や手法を学び、作品への理解を深める。	
2	柳沢	地域づくり未来大学 ～学びで地域を豊かにするための第一歩～	「学び」を通じた地域づくりや、参加者同士の交流により主体的に自ら行動・実践できる住民の支援を目的とする。	10月17日から2月6日 土曜日 全9回	コロナ禍において、従来の対面でのつながりが難しくなっている中、新たなつながりのひとつであるオンラインの可能性を学び、新たなツールでの地域づくりを考える。	高井 正（立教大学特任准教授） 田中雅文（日本女子大学教授） 近藤真司（日本青年館公益事業部、『社会教育』編集長） 中島美暁（日本ファシリテーション協会） 岩松真紀（明治大学非常勤講師）ほか
3	柳沢	郷土史講演会 ふるさとむかし探訪 こぼれ話 ～田無・保谷の歴史史料から見る村・人・社会～	公民館だより6月1日号から8月1日号にかけて3回にわたり実施した特別紙面講座では伝えきれなかった内容を補うとともに、実際に史料にあたりながら学びを深める機会として実施する。	10月17日 土曜日	村、人、社会の3つの側面から、江戸時代の田無・保谷について学ぶ。	行田健晃（成蹊中学・高等学校専任教諭、公益社団法人徳川記念財団非常勤研究員）

4	柳沢	現代社会を考える講座 「戦後75年」と戦争体験継承の課題 ～いま、沖縄から学ぶこと～	戦後、沖縄の人々が培ってきた戦争との向き合い方をたどることを通して、戦争体験継承の課題を考える。	10月24日から2月13日 土曜日 全5回	沖縄戦と沖縄戦後史の概要、そして、沖縄で戦争体験の継承がどのように取り組まれてきたかについて学ぶ。	戸邊秀明（東京経済大学全学共通教育センター教授）
5	田無	現代的課題を考える講座 地域から“孤立”をなくすヒント3 ～コロナ禍でも、オンラインでつながろう～	昨今、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛に伴い、在宅ワークやオンライン授業等が増したが、社会から孤立しがちな人々の孤立がより深刻化した。地域活動のためにオンライン会議を開催したいと考えている方々から、オンライン会議ツールを使った会議の方法について学びたいという要望があるため当講座を実施する。	10月17日・24日・31日 土曜日 全3回	オンライン会議ツールを用いてパソコンやスマートフォンからオンライン会議に接続できるようにする。オンライン上でボランティア活動を展開している団体について知る。オンライン会議を開催する側には、どのような接続手続きが必要か、参加者に対してどのような配慮が必要か、セキュリティ上必ず守らなければならないことは何かなどを学ぶ。	とがぞの（コーダー道場こだいら道場主、ひきこもり経験者） 中川航一（リボンネットワーク）、 田島尊弘（「ひきこもりプラットフォーム」） 熊原紀夫・古沢尉行（西東京IT研究会・ITアドバイザー）
6	谷戸	地域防災講座 緊急時・災害時に備えて	防災訓練を通して緊急時・災害時における防災知識の習得をする。また、自分の住む地域で起こりうる災害を想定して対応を考えておく。さらに、身近にある物を利用して災害時に必要な物を作成し、自分でできる防災対策を日常から意識する。	10月16日・23日、11月6日 金曜日 全3回	消防署隊員指導による消火訓練と緊急時AEDの使い方をマスターし、緊急時・災害時に活用できるようにする。また、災害事例を参考にそれぞれの対処法を学び、自助・共助の視点で緊急時・災害時に対応できるように意識づける。さらに、身近にある物でフェイスシールド、マスク、簡易トイレを作成できることを確認する。	西東京消防署隊員 小野修平（ジョージ防災研究所代表）

7	谷戸	インクルーシブな社会をめざす講座 だれもが生き生きとするまちをかなえる、はじめの一步！	障がいの有無にかかわらず、お互いを尊重しながら誰もが自分らしく生きられる社会を目指し、さまざまな取り組みを実践している団体があることを知るとともに、障がい者と実際にかかわりを持ち、排除のない社会の実現のために自分ができることを考える。	11月1日から11月29日 日曜日 全4回	就労継続支援B型事業所の各々の特徴的取り組み 柳沢公民館障がい者学級くるみ学級有志とのボッチャ交流会	田辺広子(NPO法人ハンディキャップサポートウーノの会理事長) 渡辺文子(西東京市スポーツ推進委員・くるみ学級活動支援員) 宮山秀之(小平市リズム工房所長)
8	ひばりが丘	上映会 長編動画「毎日がアルツハイマー2 関口監督、イギリスに行く編」	映像を通して、認知症への理解を深める機会とする。また、上映会開催後に「高齢者の課題を考える講座」の案内をすることで、「高齢者の課題を考える講座」への関心を高め、講座に参加するきっかけとする。	10月15日 木曜日 午前の部10時～11時半 午後の部13時半～15時	映画鑑賞	
9	ひばりが丘	高齢者の課題を考える講座 コロナに負けない健康づくり ーラジオ体操で心も身体もスッキリ	新型コロナウイルス感染拡大防止のために自宅で過ごす時間が増えたことにより、高齢者の身体機能の低下や認知機能の低下が危惧されている。そこで、誰もが手軽にでき、在宅でも続けられるラジオ体操などの健康体操を学ぶ。今回は感染予防のため、屋外で行うこととする。	10月21日・28日 水曜日 全2回	ストレッチ、ラジオ体操第1、ラジオ体操第2、みんなの体操、西東京市しゃきしゃき体操など	いこいの森体操会所属全国ラジオ体操連盟認定指導士

10	ひばりが丘	子どもの課題を考える講座 ① 思春期の子どもココロに 寄り添う ～コーチングを知る講座～	成人への移行期である思春期の子どもと向き合うことは親にとって不安なことが多い。コーチングスキルを使ったコミュニケーションの取り方を学び、子どもとの関係性を見直す機会とする。	11月5日・12日・19日 木曜日 全3回	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチングスキルを学ぶ。 ・ワークシートを用いて考える。 ・他の参加者の意見も聞き、自分の考えを伝えることで「子どもとの向き合い方」を構築し直す。 	石川りつこ（一般財団法人生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ、2級キャリアコンサルティング技能士）
11	保谷駅前	環境講座 ～知っているようで知らない植物を探ってみよう～	市内の限られた緑を保存するために、ボランティア活動をしている方々と共に学ぶことで緑にかかわる活動に参加し緑豊かなまちづくりを考える。 また、専門家の方から学ぶことで、活動の幅が広がり、より一層充実したものになるような学習の機会とする。	10月29日から11月26日 木曜日 全4回	<ul style="list-style-type: none"> ・実生の寄せ植え実習 ・個人でも緑を増やすことができる土壌づくりについて ・西東京市の緑地保護の大切さについて 	高橋いく（野草に親しむ会会長とメンバー） 松本 聡（日本土壌協会会長・東京大学名誉教授 農学博士） 伊豆田 猛（東京農工大学農学部 環境資源科学科教授 農学博士）
12	保谷駅前	人権講座 子どもの権利を考える	平成30年10月1日に施行された「西東京市子ども条例」の基本をなす「子どもの権利条約」について学び、条例を西東京市のまちづくりに活かすために参加者が自分に出来ることは何かを考える。	11月8日から11月29日 日曜日 全4回 ※11月22日に映画上映会を予定	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士より子どもの権利について学ぶ。 ・西東京市子ども条例施行以降の状況と西東京市の取組について学ぶ。 ・子どもの遊ぶ権利の保障、教育を受ける権利の保障について、現状と課題を考え合う。 	伊藤和子（弁護士。著書「人権は国境を越えて」岩波ジュニア新書ほか多数） 野村武司（東京経済大学教授、西東京市子どもの権利擁護委員） 村岡真治（小平市ゆうやけ子どもクラブ施設長） 関本保孝（世田谷区立三宿中学校夜間学級教諭。基礎教育保障学会事務局長）